

食用菊

かきのもと



菊を食べる文化は全国的に珍しく、新潟県と山形県のみ。「かきのもと」という名前には、柿の実が色づいてくるときに赤くなることから、昔から農家の垣根の下辺りで栽培されていたからなどの由来があると言われています。新潟市南区の白根地区で栽培されているかきのもとは、新潟県内出荷量の約8割を占める逸品。アントシアニンの色素による鮮やかな赤紫色で、爽やかな香りとほろ苦い味、シャキシャキとした歯ごたえの良さが特長です。しろねかきのもと部会では、25人の生産者が「夏かおり」と「今井系」の2品種を生産しています。



出荷時期

出荷時期：5月下旬～12月

「夏かおり」は5月下旬から9月下旬まで、10月からは主力品種「今井系」の出荷が始まり、12月上旬まで続きます。



JA新潟かがやき管内収穫地域

①新潟市南区(白根)

知っ得！豆知識

水分が損なわれないようポリ袋などに入れ冷蔵保存し、早めに調理しましょう。